



週間情報



No.0427

発行日 令和4年7月26日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 「令和4年版消防現勢」の発行及び調査結果の提供について

全国消防長会

全国消防長会では、令和4年4月1日付け全消発第2号「令和4年消防現勢等調査及び消防装備等実態調査の実施について」により実施した調査の結果に基づき、「令和4年版消防現勢」を発刊し、令和4年7月25日（月）付けで各消防本部（局）へ発送しました。

また、これらの調査結果の詳細は、全国消防長会情報管理システム内でダウンロードすることができますので、ご活用ください。

なお、調査結果を活用する際には、全国消防長会情報管理システム運用管理規程及び全国消防長会情報管理システムデータ保護管理規程を順守し、適正な使用及び管理を行っていただきますようお願いいたします。

（全国消防長会ホームページにおいても、これらの調査結果の一部を公開しています。）

【問い合わせ先】

企画部情報管理課 末松・持丸

電話 03-3234-1321

FAX 03-3234-1847

E-mail joho-sys@fcaj.gr.jp

消防本部の動き

行事

◆ 第43回原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会の総会を開催

柏崎市消防本部（新潟）

柏崎市消防本部では、令和4年7月7日（木）、石川県羽咋郡志賀町において、第43回原子力発電所等所在市町村消防情報連絡会の総会を3年ぶりに集合形式で開催しました。

この連絡会は、原子力発電所等が所在する全国15消防本部（会員）で組織されており、令和4年度と5年度は、当市消防本部が事務局を担当しています。

会議は、開催地の小泉町長、石川県の村上危機管理監、総務省消防庁の大嶋特殊災害室長ら10名の来賓を迎え、各消防本部が抱える原子力防災に関する諸問題についての情報交換等や、来賓からの助言や指導により、会員相互の情報連絡体制をさらに強化するものとなりました。

なお、令和5年度と同総会は、北部上北広域事務組合消防本部（青森）において開催される予定です。



【総会の様子】

訓練

◆ 警察署と合同で遊覧船からの救助訓練を実施

中津川市消防本部（岐阜）

中津川市消防本部では、令和4年7月6日（水）、管内を流れる木曾川の恵那峡において、中津川警察署と合同で遊覧船からの救助訓練を実施しました。

この訓練は、恵那峡に多くの観光客が訪れる季節を迎えるに当たり、不慮の事故に対応する体制を確立することを目的として実施したものです。

訓練には、当消防本部の救助隊員27名と、同警察署の警察官23名が参加しました。

遊覧船が岩に衝突して運航不能となり、乗船していた観光客を救出するという想定で、ドローンと県警ヘリコプター「らいちょう」を活用して状況の確認を行うとともに、要救助者を救助ボートに救出する方法を確認しました。



【救助を待つ遊覧船の様子】



【遊覧船に向かう救助ボートの様子】

◆ 浸水地域における模擬家屋からの救出訓練を実施

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和4年7月6日（水）、浸水地域における模擬家屋からの救出訓練を実施しました。

この訓練は、豪雨災害が発生した4年前の平成30年7月6日（金）と同日に実施したもので、同災害を経験していない職員49名に対し、当時の活動を丁寧に語り継ぐことで風化を防ぐとともに、同災害の認識を深めてもらうことを目的としています。

訓練では、高度救助隊が指導者となり、各署の救助隊員16名が、同災害の経験をもとに確立した浸水家屋からの救出方法を学びました。

今後も、発災時に迅速な対応ができるよう、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【参加隊員による黙とうの様子】



【訓練の様子】

◆ 災害拠点病院（草加市立病院）のDMATとCBRNE災害訓練を実施

草加八潮消防局（埼玉）

草加八潮消防局では、令和4年7月7日（木）、草加消防署青柳分署において、災害拠点病院（草加市立病院）のDMATとCBRNE災害訓練を実施しました。

当日は、特殊災害を専門とする消防中隊と防護服着脱、ゾーニング、除染の訓練を実施しました。

今後も関係機関との連携を強化し、住民の安全・安心のために災害対応力の向上に努めてまいります。



【防護服着脱訓練の様子】



【除染訓練の様子】

◆ 合同水難救助訓練を実施

鹿島地方事務組合消防本部（茨城）

鹿島地方事務組合消防本部では、令和4年7月13日（水）、神栖市の日川浜海岸において、鹿島海上保安署及び茨城県警察本部と合同水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、海水浴場の開設を迎えるに当たり、利用者の安全意識の啓発と水難事故発生時における各機関との連携の強化を目的に実施したものです。

当日は、三機関の救助艇が連携し、要救助者の救出、搬送要領の確認、情報共有の徹底を図りました。

今後も関係機関と緊密な連携と訓練を継続し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 海上災害対応合同訓練を実施

伊予消防等事務組合消防本部（愛媛）

伊予消防等事務組合消防本部では、令和4年7月15日（金）、管内のふたみシーサイド公園において、海上保安庁、警察と海上災害対応合同訓練を実施しました。

訓練は、暴走していた船が漁業中の漁船に衝突したことで、双方の船から出火するとともに、漁船の乗組員が海に転落して行方不明になったとの想定で、合同指揮本部を設置し、海上と陸上の双方からの消火活動、各機関の船舶と消防のドローンによる行方不明者の捜索・救出活動を実施しました。

今後も関係機関と訓練を継続し、あらゆる災害に備える体制強化に努めてまいります。



【ドローンでの捜索の様子】



【消火活動の様子】

研 修 等

◆ 交通救助合同研修会を実施

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、令和4年7月11日（月）、本市消防教育訓練センターにおいて、有限会社時信レッカーセンターと交通救助合同研修会を実施しました。

本研修会は、車両特性への理解を深めるとともに、大型車両の交通救助事案への対応力を強化する目的で実施したものです。

当日は、同社の訓練用車両を活用し、大型車両特有のエアブレーキシステムの構造を確認した後、エアチャンバーロックの解除や、アクスルシャフトの離脱等の緊急対応要領を確認しました。

今後も車両特性の習熟を図り、要救助者の早期救出のために、さらなる救助技術の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 警防技術研修会を実施

双葉地方広域市町村圏組合消防本部（福島）

双葉地方広域市町村圏組合消防本部では、令和4年7月12日（火）、13日（水）の2日間、双葉地方森林組合の協力を得て、警防技術研修会を実施しました。

この研修会は、安全・確実なチェーンソーの取り扱いを習得することを目的に実施したものです。

研修会では、当消防本部の職員延べ56名が参加し、自然災害を想定した倒木除去や、始動前の点検・使用後のメンテナンスを学びました。

訓練の最後には、富岡消防署長が「今回学んだ知識・経験を生かし、災害現場での正確さと迅速性を高めていってほしい。」と講評しました。



【倒木除去の様子】



【双葉地方森林組合員による指導の様子】

◆ 防災ヘリコプター「つくば」の有効活用研修会を開催

鹿行広域事務組合消防本部（茨城）

鹿行広域事務組合消防本部では、令和4年7月13日（水）、14日（木）の2日間、茨城県防災航空隊の隊員を講師に迎え、防災ヘリコプター「つくば」の有効活用研修会を開催しました。

本研修会では、現場活動等の基礎知識、防災ヘリコプターの要請基準、管内で発生した事案の検討、今後発生するかもしれない事案の対応について講義を受け、多くの知識を習得することができました。

今後も連携の強化を図り、災害対応力の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

その他

◆ 消防行政協力者3名に対して感謝状を贈呈

和歌山市消防局（和歌山）

和歌山市消防局では、令和4年7月8日（金）、消防行政協力者3名に対して消防局長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和4年4月17日（日）、付近を通りかかった3名が、道路上で意識を失い倒れた男性に対し、迅速な119番通報と交代しながらの胸骨圧迫を行った結果、一命を取りとめたものです。

また、同事案において、和歌山広域消防指令センターの職員（紀美野町消防本部所属）に対し、他の模範となる的確な聴取と口頭指導を行ったとして、消防局長から表彰状を贈呈しました。

これは、4消防本部（那賀消防組合消防本部、海南市消防本部、紀美野町消防本部、和歌山市消防局）の職員が勤務する同指令センターとして、初めての職員表彰です。



【贈呈後の記念撮影】

◆ 消防総監感謝状を贈呈

東京消防庁（東京）

東京消防庁新宿消防署では、令和4年7月15日（金）、新宿警察署の警察官2名に対し、消防総監感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和4年6月1日（水）、警察官2名が、路上で心肺停止状態となった80歳代の男性に対して、人工呼吸、胸骨圧迫、AEDを使用した除細動を行ったものです。

救急隊到着時には、男性の呼吸、心拍は再開していました。そして、現在では食事ができるほど回復しています。

藤岡巡査長は「何度も人が倒れたとの通報でAEDを搬送したことはありましたが、実際に使用したのは初めてでした。講習を受けていたので落ち着いて行動できました。」と話し、小野寺巡査長は「生きてほしいという強い思いで対応しました。翌日にご家族から感謝の連絡を受けて、本当に良かったと思いました。」と話していました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 富士山山小屋の立入検査を実施

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部（静岡）

御殿場市・小山町広域行政組合消防本部では、令和4年7月5日（火）に御殿場口山小屋、7月15日（金）に須走口山小屋の立入検査を実施しました。

この立入検査は、消防法改正により面積に関係なく山小屋に自動火災報知設備（特小用自火報）の設置が義務化されたため、開山前に定期的に行っているものです。

両日とも天候に恵まれませんでした。立入検査結果はすべて異常ありませんでした。

今後も、登山者に日本一の富士山を楽しんでもらえるよう、山小屋の消防用設備等の維持管理に努めてまいります。



【立入検査の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 予防技術検定の実施に関する公示について

（事務連絡、令和4年7月11日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

「消防力の整備指針第32条第3項の規定に基づき、予防技術資格者の資格を定める件」（平成17年消防庁告示第13号）に定める予防業務全般及び防火査察、消防用設備等又は危険物に関する高度な知識及び技術の試験として消防庁長官が確認したもの（予防技術検定）の実施について、一般財団法人消防試験研究センターから下記のとおり公示されましたのでお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/220711_yobou_jimul.pdf）に掲載されています。

消防庁予防課設備係
担当：関、藤野
電話：03-5253-7523

◆ 患者等搬送事業者の調査結果について

(事務連絡、令和4年7月15日)

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部(局)あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

標記について「患者等搬送事業者認定等に係る報告について」(令和4年3月16日付け消防庁救急企画室事務連絡)により行った調査の結果を別紙「患者等搬送事業者認定状況」のとおり取りまとめましたので、執務の参考資料としてご活用ください。(別紙省略)

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/163939afff49ad186953c00bf49e1388ba0eeb5f.pdf>)

に掲載されています。

【お問合せ先】

消防庁救急企画室

担当：小味・入江・大浦

電話：03-5253-7529

mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp

報道発表

◆ 消防法施行令の一部を改正する政令(案)等に対する意見公募

(令和4年7月14日、消防庁)

消防庁は、消防法施行令の一部を改正する政令(案)等の内容について、令和4年7月15日から令和4年8月18日までの間、意見を公募します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/0714_yobou.pdf)に掲載されています。

(事務連絡先)

消防庁予防課 稲垣課長補佐、恩村

TEL 03-5253-7523 (直通)

FAX 03-5253-7533

◆ 令和4年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

(令和4年7月15日、消防庁)

令和4年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

安全功労者表彰受賞者 個人16名、団体12団体

消防功労者表彰受賞者 消防団員2名、女性(婦人)防火クラブ員5名

(受賞者名簿は、別紙の受賞者名簿に記載されています。) (別紙省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/539bd0c756f683972f57d57186976b5ef3e933d2.pdf>) に掲載されています。

連絡先 消防庁総務課 泉水政策評価広報官・ 横堀係長・加藤事務官 TEL 03(5253)7521 内線 42177 FAX 03(5253)7531
--

情報提供

◆ 令和4年度予防技術検定の実施について(お知らせ)

一般財団法人消防試験研究センター

令和4年度の予防技術検定を次のとおり実施します。

また、当センターのホームページにも受験案内等を掲載しましたのでご利用ください。

- 1 検定実施年月日
令和4年12月4日(日) 午後2時00分から午後4時30分
- 2 検定会場
全国47都道府県の各会場(詳しくは当センターのホームページをご覧ください。)
- 3 検定区分
防火査察・消防用設備等・危険物の3区分
- 4 受検申請先
〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル19階
一般財団法人消防試験研究センター 予防技術検定担当
- 5 受検申請期間
令和4年7月13日(水)から8月31日(水)まで
- 6 受検申請方法
郵送(令和4年8月31日(水)消印有効)
- 7 受検願書等の常置場所
一般財団法人消防試験研究センター本部、各支部及び中央試験センター
- 8 合格発表日
令和5年1月11日(水)(予定)
- 9 一般財団法人消防試験研究センターホームページ
<https://www.shoubo-shiken.or.jp>

問合せ先 業務部設備課 予防技術検定担当 電話 050-3803-9297・9298
--

◆ 東京消防庁における令和5年度長期受託研修に関するお知らせ

東京消防庁（東京）

東京消防庁では、令和4年度に引き続き、令和5年度長期受託研修を実施します。この受託研修は、各消防本部の希望職員を対象とし、当該職員が東京消防庁本庁部門において業務に従事することによる、OJT（職場内指導）を通じた能力向上を目的としています。

なお、当庁では組織一丸となって安全対策に取り組んでいくため、本年4月に「安全推進部」を新たに創設しました。安全推進部は、質の高い消防行政サービスを提供するため、「安全文化の醸成」や「心理的安全性のある明るく風通しの良い規律ある組織作り」に向けて取り組んでいます。これらの取組に挑戦するにあたり、全国の各消防本部の様々な視点や取組を参考にしていきたいと考えていることから、安全推進部では長期受託研修を通じた各消防本部からの研修生の派遣を特にお待ちしています。希望する消防本部は以下に示す要領を確認の上、お申し込みください。

また、令和5年度短期受託研修については、10月頃に募集する予定です。

<申込受付期間>

令和4年11月1日（火）から令和4年12月16日（金）まで

<申込方法>

希望する研修内容、研修を希望する理由について記載し（様式は問いません。）、電子メールにて送付してください。

<研修時期>

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで（原則として1年間）

<研修生の身分、給与等>

研修生は東京消防庁職員として併任します。

研修生の給料、手当、旅費、宿泊費その他一切の費用は派遣元消防本部の負担となりますが、東京消防庁消防職員待機宿舎への入居を調整することも可能です。

研修生は、研修の内容に関連する実務経験を有する消防司令補又は消防士長の階級にある職員とします。

<長期受託研修に関する問合せ>

令和5年度の研修内容（例）を次に示します。

研修内容や派遣期間等、ご要望がございましたら、下記連絡先までお問合せください。

<令和5年度長期受託研修内容(例)>

部	研修内容	部	研修内容
企画調整部	<ul style="list-style-type: none"> ○重要事業計画関連事務 ○行政評価、業務の効率化関連事務 ○DX推進による消防行政の構造改革、業務改善、行政手続デジタル化等に関する企画・立案 ○事務管理システム更新に関する企画・立案 ○指令管制システム更新に関する企画・立案 ○広報に関する企画・調整 ○広報イベント等の企画・実施 ○印刷物等の企画・制作 ○新聞、テレビ等への取材対応 ○災害現場における広報支援活動 ○広聴対応 	総務部	<ul style="list-style-type: none"> ○式典・行事（出初式等）関係事務 ○法務事務（訴訟、不服申立て、損害賠償、被害事案等） ○国際業務全般（外国人視察対応等） ○経理実務全般 ○消防庁舎の計画・設計・施工・保全及び管財事務 ○各種情報通信システムの保守管理事務、情報セキュリティ対策
安全推進部 (令和4年4月新規)	<ul style="list-style-type: none"> ○安全施策及び安全教育・広報 ○安全に係る計画の全体統括及び進行管理 ○職務に起因する事故の対応及び再発防止対策 ○安全評価の企画及び実施 ○安全及び消防の科学技術に係る研究 ○職務に起因する事故の根本原因分析 ○危険物判定試験等 ○火災に係る物件等の鑑定 (安全推進部の研修内容については、関連する実務経験を有する必要はありません。) 	人事部	<ul style="list-style-type: none"> ○人事制度の企画・立案 ○採用試験事務 ○募集広報事務 ○表彰式典関係事務
警防部	<ul style="list-style-type: none"> ○指揮隊の消防活動能力向上に関する技術指導及び関係事務 ○出場計画等に関する制度の立案 ○消防戦術の調査及び立案 ○消防特別警戒関係事務 ○消防資器材の整備計画関係事務 ○震災に関する消防活動対策事務 ○水災・土砂災害に関する消防活動対策事務 ○救助技術の調査研究及び指導 ○消防活動訓練の技術指導及び関係事務 ○警防業務における安全管理関係事務 ○NBC災害や船舶・航空機・林野火災等の特殊災害消防活動対策事務 ○テロ災害事象の調査研究及び消防活動対策 ○指令管制関係事務 	防災部	<ul style="list-style-type: none"> ○防火防災訓練の訓練指導関係事務 ○総合防災教育関係事務 ○消防少年団（少年消防クラブ）育成指導関係事務 ○都民防災教育センター（防災館）関係事務 ○要配慮者の安全対策関係事務 ○住宅防火対策及び放火防止対策関係事務 ○災害時支援ボランティア関係事務 ○震災消防対策システム事務 ○地震時における室内安全対策事務 ○地域防災計画、国民保護事務 ○東京都総合防災訓練事務 ○火災予防審議会事務 ○消防水利施設の設計及び工事監理関係事務 ○消防団員募集広報事務 ○消防団装備・施設事務 ○消防団活動・計画事務

救急部	<ul style="list-style-type: none"> ○メディカルコントロール体制運営・調整事務 ○救急統計事務 ○救急需要対策事務 ○救急資器材管理事務 ○救急医療体制事務 ○救急相談センター運営事務 ○救急技術関係事務 ○救急隊員の教育に関する事務 ○応急手当普及啓発関係事務 ○救急活動照会関係事務 	予防部	<ul style="list-style-type: none"> ○消防同意の審査、検査事務 ○消防用設備等の審査、検査事務 ○火気・電気設備器具の審査、検査事務 ○危険物施設等の許認可、検査事務 ○危険物施設等の基準作成事務 ○危険物施設等の火災予防措置事務 ○石油コンビナート等特別防災区域に関する事務 ○立入検査、違反処理に関する事務 ○各種点検報告に関する事務 ○禁止行為の解除承認事務 ○違反対象物の公表に関する事務 ○火災原因、損害状況の調査事務 ○火災調査資料の収集、分析事務 ○防火防災管理制度に関する事務 ○自衛消防の指導事務
装備部	<ul style="list-style-type: none"> ○車両及び個人装備品（被服を含む。）製作事務 ○消防装備資器材の買入れ事務 ○消防艇の法定整備、塗装整備事務 ○機関員（舟艇を含む。）の育成に関する事務 ○消防車両、舟艇の安全運行に関する事務 ○消防機械器具整備事務 ○回転翼航空機の運航事務 	消防学校	<ul style="list-style-type: none"> ○教養計画関係事務 ○消防団教育訓練事務 ○教育指導要領 ○各種学校研修運営事務

※ 原則として、派遣期間は一つの課に配属されます。

問合せ先
 東京消防庁人事部人事課
 試験研修係 阿部 今吉
 電話 03-3212-2111 内線 3146
 電子メール jinjika4@tfd.metro.tokyo.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0416）1ページ、機関誌「ほのお」2022年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 高田

原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 高田

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 石原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。